

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

合い言葉は

「清く 正しく 美しく」 ～ 子どもの手本となる大人として～

教育は、「未来社会に生きる人間を育成することを通じて、未来を創造する最も基本的な営み」であると考え、教育に携わる者として、この尊い営みについての自覚と責任をもち、子どもたちが人とかかわり、社会とかかわりを大切にしながら未来を切り拓くことができるよう、最大限の努力をしなければならない。教師は、一人の大人として子どもの手本となるように、自らの言動で率先垂範しなければならない。

平成30年4月1日

呉市立吉浦中学校
作成責任者 校長 小林 浩樹

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
研修時間の確保	○ 服務規律確保のための研修内容については計画通り実施できている。H28年度は管理職や主任層に加え他の教職員も企画運営できた。グループ協議等を実施できてはいるが、計画時間より短くなるなど、時間の確保に課題がある。	○ 服務規律確保のための研修時間を確保するため、日課等の見直しを実施する。	○ 年間研修計画を分掌に任せ、分掌内で資料の作成から研修の運営までを実施させる。 ○ 研修時間確保のため、分掌に対し研修日の日課の見直しや部活動指導体制の見直しをさせ実施する。	○ 平成29年度末に平成30年度の研修計画を立案する。 ○ 研修日ごとに日課の変更を徹底させる。
より組織的な不祥事防止体制の確立	○ 次の二点に絞りたい。 ・不祥事が生起したら正常な教育活動が実施できず、生徒を成長させることができないという意識をより強くもつこと。 ・明るい職員室環境の構築に努め、何でも指摘しあえる雰囲気を維持すること。	○ 教職員が自ら率先垂範する意識をより強くもつ。 ○ 教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、何でも指摘しあえる教職員間の温かい雰囲気を醸成する。	○ あいさつ、服装、時間、言葉遣い等において、教職員自らが手本を示す。 ○ 気になったこと・よく頑張っていること等の気付きを言葉にして相手に伝えるとともに、感謝の気持ちも伝えるようにする。	○ 毎日のコミュニケーションの中で、変化等を見逃さないようにする。 ○ 管理職・主任層間の情報交換を定期的実施し情報共有を図る。
中学校区におけるSC相談体制の周知	○ 本校の多くの生徒や保護者がSCと気軽に相談できるようになってきた。小学校児童・保護者に対しSCの相談日の周知を何度も繰り返して行っていない。	○ 小学校児童・保護者へ定期的にSC相談日の周知を行う。	○ 本校学校だより等で生徒・保護者に周知を図るとともに、校内の全ての教室に掲示してある相談窓口案内についても、生徒に再認識させる。 ○ 小学校にSC相談日を知らせるペーパーを配布する。参観日等の保護者来校日にもSC相談日のことを繰り返し伝えてもらう。	○ 各たよりで相談窓口等について定期的に情報提供をする。 ○ 小中一貫教育推進協議会の場を利用して、SCに関する情報を小学校に提供する。

